

河内神社報

発行所:〒731-5151広島市佐伯区五日市町上河内
http://kochijinja.org
河内神社社務所

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南(彩が丘)の氏神様

河内神社 秋祭り

8日(日) 例大祭 祭典 午後2時



今年は、河内神社の例大祭をコロナ感染症収束に伴い、以前のように執り行います。稲刈りを終えるこの時期に、収穫した稲穂を御供えし、春祭りで『秋の御祭うるわしく仕え奉らしめ給え』と奏上したお祭りを無事できることへの感謝を伝え、河内小学校6年生の4名による巫女舞を奉納し、氏子の皆様へのご加護

を祈念します。一年で一番大事なお祭りです。ここ数年の思いも合わせ、ともに集い、皆で秋祭りを盛り上げていきましよう。 宮司 山田 茂雄

俵神輿奉納 午後3時半頃

4年ぶりに各地区より俵神輿が集結します。ワッショイ! ワッショイ!と石段を登り、



各地区を巡った俵神輿が続々と境内に集結

ぎりぎりで鳥居を通す姿は必見です。 拝殿で各町内会・子ども会の代表が御幣をお供えした後、参加者全員がお祓いを受けます。各地区を巡った担ぎ手は疲れを吹き飛ばし、木遣りの音頭にあわせて俵神輿を担ぎ、勇壮に揉み合います。

7日(土) 前夜祭 午後6時半頃

神楽奉納 上河内神楽団(十二神祇と伝統花火)



例大祭の前夜、神楽は拝殿での神降し神事から始まります。河内地区には上河内神楽団と下河内神楽団があり、毎年交互に奉納されます。今年は上河内神楽団です。

演出は古くから広島県南西部で伝承されている「十二神祇」で、まず御神託、合戦などの神祇舞、途中に鯛釣り・狐舞の余興舞があり、関(荒平)・八岐大蛇などがあ

ります。 演出は古くから広島県南西部で伝承されている「十二神祇」で、まず御神託、合戦などの神祇舞、途中に鯛釣り・狐舞の余興舞があり、関(荒平)・八岐大蛇などがあ

す。午後11時頃に最終演目予定です。

演目間には高さ15mも吹き上がる吹き火、火の粉が傘のように降り注ぐ傘火、花火があります。境内に広がる火の滝は迫力満点、ここまで近くで体感できる花火は全国唯一です。いか焼き・フライドポテトなど夜店も並び、沢山の参拝者で賑わいます。昼夜の寒暖差が激しいため、服装にはご留意ください。

日本一祈願も歓迎! ↓

神社豆知識

〇資料



「花」はなとは

奉納神楽の当日、観客は神楽団や舞人への御礼を込めて、帳場受付で寄付をします。このお金を「花」と言います。神楽の鑑賞は基本的に無料ですが、「花」は伝承文化を地域で支えるマナーです。「花」は各地区を巡る俵御輿にもあります。



伝える文化を楽しむ責任

河内神社へのアクセス(周辺図)



どれにしようかな?

河内神社報

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南(彩が丘)の氏神様
発行所:〒731-5151広島市
佐伯区五日市町上河内
http://kochijinja.org
河内神社社務所

七五三祭

11月11・12・15日

午前9時〜午後4時

男子3歳・5歳、女子3歳

・7歳の年には、氏神様に七五三詣をして、お子様が無事に成長したことを感謝し、

更なる成長をお祈りします。お祝いに授かった千歳飴を持って、ご神前で記念写真をとりますように。

10月〜11月頃まで受け付けています。11・12・15日以外希望日時をご相談・ご予約ください。

河内神社社務所(082)928-2283



ご神前でにっこり笑顔

新嘗祭

12月10日(日)午後2時

今年の新米や作物を神様

にお供えします。収穫物に感謝する新嘗祭の起源は、古くは弥生時代に遡るとも言われています。普段何気なく食べ

ている食材のありがたみを昔から人々は感じてきたのです。よう。巫女舞奉納もあります。巫女舞は神の心を和ませる



神様に感謝と祈りの巫女舞

ために舞われると言われています。優美な巫女舞は人の心

も清らかに穏やかにします。
新嘗祭では、今年一年の神様の恩に感謝し、今後も変わらぬご加護をお祈りします。

“河内神社の御札” と“神宮大麻”

明るい家庭の「より処」

身近で皆様の生活を見守る地元の氏神様「河内神社」の御札と日本の全土を広く見守る神様「天照皇大神」(伊勢の神宮)の御札を家庭におまつりしましょう。大事な何かを決心した時、嬉しいことがあった時、また、自分を見つめ直す時など、家庭のより処となります。

新年を迎えるにあたっては、新しい力、新しい命をいただくため、御札・御守は新しく取り替えます。古い御札、御守は氏神様に納め、一年を無事に過ごせたことに感謝しましょう。御札・御守は河内神社で授与しております。



御札のまつり方

(手前)

天照皇大神宮
河内神社
崇敬神社

横に並べる場合



伊勢の
神宮
中大麻 1400円
小大麻 1000円
河内中御札 1400円
神御札 800円
壁掛け神棚 2000円

河内神社 百年遷宮事業奉賛会だより ― 現状ご報告 ―

5月にコロナ感染症が5類に変更されたことにより、様々な制約が解消され、日常に戻りつつあります。



7月20日、百年遷宮事業の一環として、参道の脇の樹齢70年を超えていた楠と桜の古木を伐採しました。それに先立ち、伐採の神事を関係者の参加のもと執り行いました。作業は慎重に進められ、さすがプロの業、午後3時頃には終了しました。

春には桜の花、初夏には若葉の緑と、私達を長年にわたりとませてくれた木々でした。楠は切り株の直径が1・2メートルあり、幹の一番太い所は幹周り約3メートルありました。総重量は2トンあったそうです。



コロナ感染症、人件費・資材高騰の影響もありましたが、目に見える形で遷宮事業が動き始めました。これまでも建築図面の作成など水面下での事業の進展がありました。加えてこれからは、関係省庁との交渉、業者の選定など、数多のヤマ場があります。関係役員の皆様のお力により着実に進められています。(宮司 山田 茂雄)

河内神社のこよみ (令和5年度下半期)

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南(彩が丘)の氏神様

10月7日(土) 午後6時半

10月8日(日) 午後2時

11月15日前後

12月10日(日) 午後2時

12月31日(日) 午後6時

1月1日(祝) 午前9時

2月11日(祝) 午前10時

3月10日(日) 午後2時

毎朝

毎月1日・15日

日供祭・月次祭では皆様の日々のご安泰をお祈りしています。午前7時半が、境内の清掃などの後、執り行いますのでご参拝ください。

わしらの街で祈願祭

祈願は、地元を見守る氏神様・河内神社にお願ひしましょう。

神社で: 安産祈願、初宮参り、厄払い、

歳祝い、車祝い、合格祈願、家内安全など

現地で: 地鎮祭(新築)、家祓(入居)、

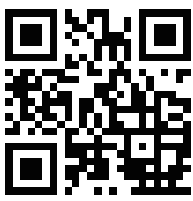
上棟祭、商売繁盛、安全祈願、開店祭など

不明なことや日時、式次第などご相談、

ご予約ください。河内神社社務所(082)928-2283



清々しく家族揃って願いを氏神様に



河内神社ホームページ